



倫理および ビジネス行動規範



orano

目次

1	当社のコア・バリューと基本原則	04
2	倫理およびコンプライアンスのガバナンス	05
3	利害関係者との関係	05
	当グループが事業を展開する国、その代表者、行政機関、当局との関係	05
	当グループのお客様とパートナー	05
	当グループの社員とその代表者	06
	当グループの株主・投資家	06
	サプライヤーと下請け業者	06
	国民と国土	07
4	人、環境、遺産の保護に関する当社の規則	07
	人と人権の尊重	07
	原子力安全、環境、健康、一般安全および保護	08
	品質	08
	評判とブランドイメージ	08
	無形遺産	09
	個人情報の保護	09
5	ビジネス行動規範	10
	腐敗行為および贈収賄	10
	マネーロンダリング	11
	ファシリテーション・ペイメント	11
	ギフトおよび接待	12
	利益相反	12
	競争法	13
	輸出管理と国際的な制裁措置	13
	第三者との取引関係	13
	ロビー活動と政治献金	14
	メセナ活動、寄付、スポンサーシップ活動、地域連携活動	14
	インサイダー取引	15
	不正行為	15
6	内部通報制度	16
7	懲罰	16
8	本書の特徴 - 改訂の目的	17

Oranoグループは、数多くの国で、そして複雑な環境の中で事業を展開しています。このような状況の中で、当社の存在意義ともいえる「**気候、健康、資源節約のために、核物質の変換と適切な管理に関する専門知識を現在および将来にわたって発展させること**」、そしてコミットメント戦略に沿った当社の目的の実現、および長期的な持続可能性の追求は、あらゆるレベル、あらゆる活動における当社の行動や言動の指針となる共通の価値観に基づいています。



当社の倫理・ビジネス行動規範は、これらの価値観を毎日の業務において遵守するための原則とルールを定めたものです。これは、当社の企業文化を反映し、特に持続可能な発展と人権の尊重という観点から、すべての利害関係者に対する当社のコミットメントを表現しています。これは、すべての社員および管理者の基準となるもので、当社の活動の達成に貢献したいと望むすべての人に、当社の期待と要求レベルを提示するものです。

イントラネットやインターネット上でアクセス可能なこの規範において、当グループは、あらゆる形態の腐敗行為および不正行為防止のための取り組みとして、「ゼロ・トレランス」方針を掲げています。

利害関係者に対して責任ある企業としての私たちの行動は、優先的に考慮されるべき2つの原則、すなわち「環境への配慮」と「社会的責任」を前提としています。

→ つまり、活動を遂行する上での安全と安心、そして健康と環境の保護という課題に見合った最高レベルの要件を満たすこと。

→ また、最高水準の誠実さと、腐敗行為、不正行為、反競争的行為防止のための揺るぎないコミットメントを果たすこと。

これらの価値観を広め、当社の原則を尊重することは、世界中のすべてのグループ会社、および産業界や商業界のパートナーにおいて、管理者と従業員のすべてに果たせられるものです。

執行委員会、取締役会、そして私たちは、皆さん一人ひとりがこの倫理・ビジネス行動規範を厳格に遵守し、お客様やパートナーのために付加価値を創出することで、持続的かつ収益性の高い成長の基盤を共に築いていくことを願っています。







フィリップ・クノル
社長

クロード・イモーヴァン
会長

1 当社のコア・バリューと基本原則

この規範は、当グループの存在意義である「**気候、健康、資源節約の世界のために、核物質の変換と適切な管理に関する専門知識を現在および将来にわたって発展させること**」、また当社のコミットメント戦略に沿って、グループの価値観を規定したものです。これは、当グループが事業を展開する世界のすべての地域で、あらゆる状況において、すべての人の行動や言動の基準となるべきものです。すべての従業員は、個人的にも集団的にも、この倫理的なコミットメントを日常的に体現する必要があります。

Oranoグループでは、全員が共通の価値観を持って仕事をしています。

-  **原子力安全・一般安全:** 妥協せず、最高の基準を目指すこと。
-  **お客様の満足度:** 耳を傾け、実用性を優先し、状況の先読み、迅速な対応、提案に努めること。
-  **継続的な改善:** 権限の委任、間違いを犯す権利、イニシアチブ、創造性、結果の追求、外部志向、挑戦すること。
-  **人の尊重と人材育成:** 耳を傾け、厳しく、親愛をもち、相違点の尊重、職業と個人の育成に努力すること。
-  **結束力とチームスピリット:** 協力的で、透明性を維持し、問題の解決、チームワークでの作業に努めること。
-  **倫理、透明、対話:** 社内外の利害関係者との情報交換と対話に努め、合法性、会社の規則、従業員の権利の尊重、模範性、誠実さを追求すること。

Orano は、倫理とコンプライアンスの観点から責任を担っているグループ会社です。当グループは、国連の「世界人権宣言」に明記されている人権を尊重のうえ活動を行っています。

Oranoグループは、国連グローバル・コンパクトの原則を支持し、OECDの多国籍企業ガイドラインとEITI(採取産業透明性イニシアティブ)を遵守しています。

当グループは、事業を展開している各国の法令を遵守し、また国内基準も厳格に遵守しています。当グループは、従業員の権利を尊重することを約束します。Orano グループは、あらゆる状況において、その分野の最高基準を適用することを目指しています。

誠実さ、透明性、開かれた対話が、原子力安全性と一般安全と並んで、あらゆる状況における私たちの実践と決定の基盤となるものです。

当グループは、環境、経済、社会、企業責任の分野において、業績の客観的評価を可能にする、信頼性の高い情報を提供しよう努めます。

本行動規範は、Orano の全社員に加えて、当グループの外部請負業者および臨時のサービス提供者にも適用されます。適用法令がより厳しい規則を定める場合は、本規範に代わってかかる法令が適用されるものとします。

それぞれのトピックについて、取るべき規範的行動と回避すべき行動が例示されています。

2 倫理およびコンプライアンスのガバナンス

Oranoのビジネス行動規範(「倫理規範」とも呼ばれる)の実施は、すべての人の責任にかかわるものです。マネージャーは、模範的な倫理観を持って行動することが期待されます。

担当部局は、倫理・コンプライアンス体制を監督し、コンプライアンス部門や本規範で取り上げられている問題を担当するその他の部局の支援を得て、グループ内に倫理文化を普及させることに努力します。

責任者は、チームからの倫理およびコンプライアンス関連の質問に答え、所属部門や部署のコンプライアンス担当者に相談するよう指示します。また、コンプライアンス部門は、すべての従業員からの倫理的な質問に答えます。

「倫理とコンプライアンス:いかに行動すべきか?」(Ethique & Conformité : Comment agir ?)と題した実践的なガイドが作成されています。各テーマごとに図解されているこのガイドは、イントラネットサイトで従業員に提供され、グループ内での手続きや方針を参照することができます。

また、Orano グループは、本規範の実施、現行の方針や手続きの適用を確認するために監査を行うことがあります。

3 利害関係者との関係

利害関係者に対するOranoのコミットメントは、当グループの価値観と原則に沿ったものでなくてはなりません。また、当グループは、サプライヤーや下請け業者を含める産業界や商業界のパートナーに対しても同様の価値観と原則に沿った行動を期待しています。

当グループが事業を展開する国、その代表者、行政機関、当局との関係

Orano は、原子力安全当局の指示を含め、事業を展開している国で施行されている法律や規制を厳格に遵守しています。

当グループのお客様とパートナー

お客様の期待に応え、その希望を先取するために、グループは常にお客様の声に耳を傾けています。当グループは、お客様に対して高品質の製品とサービスをお届けすることをお約束します。

私たちはお客様の文化を尊重し、お客様の保持しているイメージと利益を保護します。お客様やパートナー企業からOranoに提供されるデータやノウハウの機密性は、法律や規制の枠組みの中で、当社のデータと同様に保護されます。

当グループの社員とその代表者

社員とは、Oranoグループ企業に雇用されているすべての役員、管理職、従業員、研修員、交代技能習得生 (alternants) を指します。特に、役員や管理職は、模範的な行動を示さなければなりません。

Oranoの社員は、年齢、出身、性別、性的指向、民族、国籍、宗教、政治的意見、身体的外見、障害の有無などで差別されることなく採用されています。

Oranoは、社員のプライバシーを尊重し、政治的意見、労働組合への加入、哲学的または宗教的信念に関しては中立的な立場を保持します。逆に言えば、職場での何らかの教化活動は禁止されています。

Oranoは社会的対話を重視し、誠意と公明正大さをもって対話を実行しています。

Oranoでは、あらゆる分野で役職に応じて必要とされる専門知識の水準を維持し、専門家としての能力開発に貢献することを目的とした研修プランを社員に提供しています。

当グループのすべての社員は、国連の「世界人権宣言」に明記されている人権を尊重のうえ活動を行っています。

社員は、いかなる状況においても誠実に行動し、事業を行っている国で施行されている法律や規制、Oranoの倫理・ビジネス行動規範、またグループの方針や手順を遵守することにコミットしています。社員はOrano の様々なリソースを、自分のリソースと同じように厳格に管理します。臨時スタッフに対しても同様の行動姿勢が求められます。

社員は、当グループの基本的な価値観と原則を尊重し、当グループが行ったコミットメントを遵守することを約束します。

Orano の社員は、常に顧客志向をもって活動します。プロとしての職業意識、能力、厳しさをもって行動します。社員が実現する業務、あるいは下請けに出す業務は、トレーサビリティの義務を遵守しています。

社員は、Oranoの製品やサービスの卓越性を常に追求します。社員は、業務に役立つ知識の伝授を保証します。経験のフィードバックは終始一貫して活用されます。

当グループの株主・投資家

Orano は、株主・投資家の皆様に最適な成長と投資収益を確保することを目的に、コーポレート・ガバナンスの原則を尊重することをお約束します。私たちは特に、株主・投資家の皆様を平等に扱い、正確で適切な財務情報を提供するように注意しています。

サプライヤーと下請け業者

Orano は、お客様に最高レベルのサービスを提供するために、競争的な環境の枠組みの中で、サプライヤーや下請け業者と長期的なパートナーシップを構築したいと考えています。

したがって、私たちは、取引初期の段階から、すべてのサプライヤー、下請け業者、パートナーと公正、公平、客観的、相互尊重に基づいた関係を維持することを約束します。

Orano は、サプライヤーのイメージとその機密情報を、自社のものと同様に保護することを約束します。

Orano は、サプライヤー、下請け業者、財務パートナー、コンサルタント、商業的仲介者(販売業者、代理店など)が、この「倫理・ビジネス行動規範」に記載された原則を遵守するよう求めています。

Orano は、国際人権法を推進・尊重し、いかなる形態の人身売買、強制労働、児童労働も行わないことを約束し、サプライヤーや下請け業者にも同様の約束を求めます。

さらに、Oranoはサプライヤーが、同社の原子力安全、一般安全、健康、および環境保護基準を遵守すること、または少なくとも同等の基準を適用することを求めています。

Oranoは、商品やサービスのサプライチェーンを通じて、サプライヤーや下請け業者の業務がOrano社の倫理・ビジネス行動規範に準拠しているかどうかをいつでも確認する権利を有します。

国民と国土

Oranoは、長年にわたって地域に根ざし、気候、健康、天然資源の保全を通じて地域と社会の発展に役立つ専門知識を持っていることを誇りに思っています。

当グループは、人と環境に対するリスクや影響を適切に管理するためのプログラムを通じて、地域社会と協力し、当グループが事業や鉱業を営む地域において、事業による環境負荷を低減し、生物多様性を保全することを重要な目標として掲げています。また、同様に、領土内の経済基盤、専門的な能力開発、雇用の発展にもつながるよう努力しています。

Oranoは、開かれた姿勢を維持することで、公共の場での議論に参加することを望んでいます。私たちは、戦略的および技術的な選択について誠実さをもって説明し、私たちの活動とその結果生じうる影響について意思決定者や市民に情報を提供するよう努力しています。私たちは事業活動において、公式の委員会やコミュニケーション・チャンネルを設けて必要な情報を提供するだけでなく、人々の意見にも耳を傾けるなど、利害関係者との対話を重視しています。こうした状況の中で、情報通信手段の利用における倫理的行動を遵守しています。

Orano は、若者の研修プログラムや雇用を支援することで、核物質の処理・管理に関する専門知識や能力向上に貢献していきたいと考えています。

Orano はまた、未来の世代のために、地球規模の課題に貢献することを誓います。

- 低炭素で競争力のある電力に貢献することで、地球温暖化と燃料貧困に対処します。
- 原材料のリサイクルを通じ、天然資源を保護します。
- 健康。

4 人、環境、遺産の保護に関する当社の規則

人と人権の尊重

当グループは、児童労働、あらゆる形態の強制労働を排除し、結社の自由、プライバシーの保護、団体交渉権を尊重するために、人間の尊厳を尊重し、あらゆる種類のハラスメントや人権侵害を禁止して事業を行うことを約束します。



禁止事項:

- オラノの従業員、及びステークホルダーに対する誹謗中傷や侮辱的言動
- 従業員の身体的外見、宗教、思想、年齢による差別



推奨事項:

- あらゆる状況において社員に尊重されるような模範の対象
- 連結子会社内の人権侵害禁止の確立

原子力安全、環境、健康、一般安全および保護

Oranoは、事業所で行われる活動が、現行の規則と、原子力安全、環境保護、健康・安全、人と施設の保護に関するグループの方針に準拠していることを確認しています。

当グループの従業員は、事業活動を行うあらゆる場所で、日々の行動や活動において、以下のことを求められます。

- 私たちの知識、能力、経験の限りを尽くして、原子力安全と一般安全を確保し、健康と環境を守るための手段を実現する。
- HSE(健康、安全、環境)の指示内容を適用することにおいて模範を示し、これから行おうとしていることや、実際に見たことについて常にそれが最適であるかどうか疑問を持つ姿勢を維持すること。
- 輸送中を含め、施設や核物質に対する脅威や悪意のある行為から人々や環境を守ること。
- 懸念事項、自己/他者へのリスク、またはHSE規則および保護に対する違反があった場合報告すること。

当グループは、国内外のさまざまな規制要件に準拠して、最重要基準および規則を適用することを約束し、日々の行動を通じて、予防措置の有効性の維持、不断の警戒、異常事態の即時報告に協力します。



禁止事項:

- HSE関連のリスク状況を無視すること
- 要求事項の情報を得て基準に従うことを怠ること



推奨事項:

- HSEの指示内容を適用することにおいて厳格であり、これから行おうとしていることや、実際に見たことについて常にそれが最適であるかどうか疑問を持つ姿勢を維持すること
- 懸念事項、自己/他者へのリスク、またはHSE規則に対する違反があった場合報告すること

品質

Oranoは質の高い製品とサービスを提供しています。そのために、当グループは、法律、規制、契約上の有効な遵守事項、国際的に推奨される慣行をすべて遵守し、製品とサービスの品質に関してお客様の期待を満足させることを約束します。

当グループは、社内およびサプライヤーや下請け業者における不正や品質不正の撲滅に取り組みます。



禁止事項:

- 不正につながる行動をとらせようとする圧力に屈すること
- 品質の逸脱や不正があった場合にそれを隠蔽したり、報告しなかったりすること



推奨事項:

- 行動が、グループの行動規範および品質方針に準拠していることを確認すること
- 常に警戒し、規則違反があった場合、速やかに通報すること

評判とブランドイメージ

Oranoの評判は、私たちの遺産として欠かせないものです。

各社員は、個人やグループを侮辱、罵倒、軽視するとみなされるような行為や発言を公の場で行わないように注意しなければなりません。

外部および内部のソーシャルネットワークは、個人的な立場での利用も含め、慎重に利用する必要があります。

国内および国際的關係において、対応時に敬意を払うことが要求され、相手を誹謗中傷したり、誇示したり、無礼な振る舞いをしたり、軽んじる態度をとったりすることは禁じられています。



禁止事項:

- Oranoの評判やイメージを損なうことを目的とした公表、主張、行為(侮辱、差別...)



推奨事項:

- ジャーナリストやその他のメディアからの要請があった場合、グループおよび現地の広報担当に連絡すること

無形遺産

従業員は、「Orano Confidential」(社内秘)または「Limited Distribution」(限定配布)と表示されているか否かにかかわらず、グループの戦略的な機密情報を、侵入、盗難、紛失、劣化、不正流用、開示、複製、改ざん、業務履行以外の目的での使用、不正または透明性のない目的での使用から保護する責任があります。特にインターネット、イントラネット、ソーシャルネットワーク上では注意が必要です。

その目的は、技術情報、職業上の情報、また人、有形・無形の資産、核物質の保護に寄与する情報を守ることです。

このような情報には、顧客や潜在顧客およびサプライヤーに関するファイル、パスワード、製造に関する書類および図面、工程およびノウハウ、製造上の秘密、知的財産および工業所有権、予測、契約および合意、原価および販売価格、戦略的または商業的計画、研究開発情報または技術革新に関連する情報、財務および社会的情報、専門家およびエキスパートの名前および連絡先、ならびに収集および処理されたあらゆる個人データなどが含まれますが、これらに限定されません。



禁止事項:

- コンピュータ機器をロックしない状態で放置すること
- 発信元が不明または疑わしい外部メールへの返信



推奨事項:

- 取り扱う情報の内容を評価・管理し、トラブルが生じた場合は報告する
- 情報を保護するために、常識に基づいて厳しい対応をする

個人情報の保護

個人情報の保護は、自然人としての個人に関連する情報(コンピュータデータまたは紙媒体)のあらゆる取り扱いに関するものです。

Oranoは、グループが事業を展開している国で適用される規定(特にEU一般データ保護規則(GDPR)とフランスの情報処理および自由法(改正))を遵守するために、個人情報の保護に徹し、コンプライアンス制度を導入しています。



禁止事項:

- 権限のない人に個人情報へのアクセスを許可すること
- 個人情報の収集を広範囲に実施し、本来の目的以外で利用すること



推奨事項:

- 意図した処理に必要な個人情報のみを収集すること
- 個人情報の処理を実施する前に、データ保護責任者に申告し、分析を受けてDPOの登録簿に記載すること

5 ビジネス行動規範

当社のビジネス行動規範は、社員が、潜在的なリスクが伴う状況を把握し、状況に即した対応に必要な手段を提供することです。より詳細な手順はイントラネットに掲載されています。また必要に応じて、コンプライアンス部門とコンプライアンス担当者が必要な説明と支援を提供します。

Oranoグループの社員、管理職、その他の代表者と、公的機関、お客様、サプライヤー、パートナーとの現行のあるいは潜在的な取引関係は、常に誠実さを基盤にするものでなくてはなりません。

腐敗行為および贈収賄

腐敗防止および贈収賄防止は、グループ全体の大きな課題です。本規則は、世界中のOranoの社員および管理者、さらには産業界や商業界のパートナーを対象としており、誠実さと模範性という当社の価値観に反する行為を根絶するために、共に行動することを目的としています。

Oranoは、世界中において公私を問わず、あるいは能動的であるか受動的であるかを問わず、あらゆる形態の腐敗行為を禁止しており、腐敗行為や贈収賄の事実が証明された場合には、「ゼロ・トレランス」の原則の適用を要求します。

また、Oranoは、フランス国内、国際、外国を問わず、公的機関や行政機関、およびその係官に対する贈収賄を禁じています。

- Oranoは、政治家や公私の係官に対して、契約や商業的利益を不正に獲得・維持するために、直接的・間接的を問わず、適度な価値を超えたサービスや贈答品、接待などの支払い、その他の不当な利益を提供する、申し出る、約束する、要求すること（能動的腐敗を構成する犯罪行為）を禁じています。
- 同様に、Oranoは、公的機関や行政機関から栄誉、職、公契約その他の有利な決定を得させることを目的として、現実または仮想の影響力を不正に行使することと引き換えに、直接または間接的に申し出、約束、贈与、贈物、何らかの優遇的な取り扱いの要求を受けること、あるいは提案することを禁じています。これらの行為は、贈収賄罪を構成します。
- 最後に、Orano社は、自社の社員やパートナーが、契約や職、その他の有利な決定を不正に付与するために、贈与、贈物、何らかの優遇的な取り扱いを収受したり、要求したりすることを禁止しています。これは受動的腐敗を構成する犯罪行為です。

社員は、たとえ一時的であれ、自分が第三者に対して債務者となるような状況や、単に曖昧な状況になることを避けなければなりません。

グループのコンプライアンス部門は、腐敗行為および贈収賄を防止・検出するためのシステムを作成しました。このシステムはイントラネットでアクセス可能ですので参照し、誰もが遵守しなければなりません。



禁止事項:

- 契約の取得や付与を容易にするために、何らかの利益を提案したり要求に応じたりすること
- 当局の代表者に不当な利益を申し出て政策決定に影響を与えること



推奨事項:

- 明らかな腐敗行為や贈収賄行為に対する「ゼロ・トレランス」の原則を適用する
- リスクが伴う状況が発生した場合、経営陣およびコンプライアンス部門に通報する

マネーロンダリング

Oranoは、直接的、間接的を問わず、すべてのマネーロンダリング、およびテロリストの資金調達を禁止しています。Oranoは、本分野で適用される規制（特に欧州連合指令の第3、第4、第5条）に準拠して活動しています。

そのために、リスクのレベルに応じてビジネスパートナーの検証を行い、資金の流れのトレーサビリティを確認しています。



禁止事項:

- 受理した銀行送金の出所や、送金先の受取人を偽装すること



推奨事項:

- ビジネスパートナーや最終受益者を十分に確認し、リスクが伴う状況を報告する

ファシリテーション・ペイメント

ファシリテーション・ペイメント (Facilitation Payments) とは、一般的に、公務員や民間企業の従業員が、支払い者が期待する単純な手続きや必要書類の取得（例えば税関検査、許可証、ビザ、労働許可証の発行など）を円滑化したり、速やかに実現させるために、少額の非公式な支払いを提供したり、要求したりすることを指します。

Oranoは、現地規制で禁止されていない国も含め、当グループが事業を展開するすべての国で、すべてのファシリテーション・ペイメントを禁じます。

フランスをはじめとする多くの国では、その頻度や金額にかかわらず、ファシリテーション・ペイメントは違法とされており、この行為は腐敗行為とみなされます。

Oranoは、このような状況で供与される少額の「プレゼント」（タバコ、アルコール、物品など）をファシリテーション・ペイメントとみなします。



禁止事項:

- 根拠のない要求に屈すること（但し、自らの生命身体への差し迫った危険がある場合を除く）



推奨事項:

- 強要された支払いの場合は、要求を断固として拒否し、上司およびコンプライアンス担当者に早急に報告すること

ギフトおよび接待

Oranoは、合理的な限度の範囲内で少額の贈り物や接待を受けたり、申し出たりすることは良好なビジネス関係の維持に役立つ場合があることを認識しています。

社員は確かな判断力と強い責任感を持って行動しなければなりません。疑念が生じた場合には、差し出された贈り物や接待を拒否するか、上司やコンプライアンス部門に事前の承認を求めます。贈答品や接待は文書化し、当該会社の会計に記帳しなければなりません。

特定の状況下において(例えば地域の慣習に従うため、あるいは儀礼上の理由から)、社員が価値の高い(少額を超えた)贈り物や接待を受けたり、提供したりする立場にある場合、グループの規則に従って上司に報告し、書面による事前の承認を得て、その旨を登録簿に記載しなければなりません。

特に禁止されているのは、申し出たか受けたかにかかわらず、現金での支払い(または商品券などそれに相当するもの)、個人的なサービス、融資、招待、取引関係に不適切な場所で行われる贈答などが考えられます。

合理的な限度の範囲内でクライアント向けのイベントを行う場合、それが正当なビジネス上の目的を有し、あらゆる点において適切なレベルで事前に承認されたものでなければなりません。



禁止事項:

- 誠実さを疑われるような贈り物や接待を受けること
- 上司に対して透明性を欠くこと



推奨事項:

- ビジネス上の意思決定に影響を与える、または影響を与えると認識される可能性のある贈り物や招待は、丁寧に断ること
- 微妙な状況が発生した場合、上司またはコンプライアンス担当に報告すること

利益相反

利害の衝突は、社会におけるあらゆる生活に固有のものであり、各個人が集団の(職業、家族、感情、政治、団体、慈善、労働組合、宗教、文化、スポーツ、哲学関連などの)利益を妨げる可能性のある状況にさらされる可能性があります。

Oranoはこのような利益相反に特に注意を払っています。なぜなら、利益相反が透明性を持って申告され、適切な方法で処理されなければ、グループの活動や評判に非常に有害な結果をもたらす可能性があるからです(不正行為、腐敗行為、コンプライアンス不履行、商取引の歪曲、情報漏洩、内部統制の欠如、公正さの欠如、グループ資源の不正使用、インサイダー取引など)。

各個人は、その活動の過程で、自分または身近な人の個人的利益がOranoグループの利益と相反するような状況にさらされる可能性があります。

上司に報告された利益相反は、社内の直属およびその上の上司により、ケースバイケースで分析され、有効な法律と規則に照らし合わせて解決されるものとします。



禁止事項:

- 利益相反を隠蔽すること



推奨事項:

- 利益相反の疑いがある場合、またはそのような状況が確認された場合、それに対処するために、透明性を保ちつつ、遅滞なく上司に報告すること

競争法

Oranoとその社員は、グループの活動、特に自らが参加する可能性のある商取引や入札の際に、直接的にも間接的にも自由な競争を阻害してはなりません。また、不正な合意に参加したり、当グループが置かれている有利な立場を悪用したり、さらには当グループの競合他社や顧客に対して不公正な行為を行ってはなりません。

Oranoとその社員は、グループが事業を展開している各国で適用される競争規則を遵守しています。第三者、特にOranoの競合他社に関連する情報の収集または使用は、適用される規則に厳密に準拠して行われなければなりません。



禁止事項:

- 特に、価格操作や市場の分け合いの談合によって、公正な競争を歪めること
- 競合他社と、商業上の機密情報を交換すること



推奨事項:

- 取引関係において、常に公正かつ誠実に行動すること
- 市場の規制当局と常に協力すること

輸出管理と国際的な制裁措置

Oranoは、核不拡散、IAEA(国際原子力機関)保障措置に関する国内、欧州、国際的な規定を厳格に遵守しています。またデュアルユースの製品、技術、データおよびサービス(民生用または軍用に使用できる物品)の輸出または移転についてもこれらの輸出管理規制を厳格に遵守しています。それ以外の条件下では、当グループは活動を禁止しています。

また、当グループは、国際的な制裁措置や禁輸措置に関する法規制を遵守することを誓っています。



禁止事項:

- デュアルユース商品が無許可で輸出すること
- 各国が実施する国際的な制裁の実効を過小評価すること



推奨事項:

- 輸出管理責任者に相談すること
- プロジェクトの各段階で法的な基準について検証を行うこと

第三者との取引関係

グループの評判を保護するためには、当社と取引のあるビジネスパートナーが、当社の誠実さに関連する規範および価値観を遵守することが重要です。パートナーの非倫理的行動は、適用法令に違反し、グループのイメージに大きな影響を与える可能性があります。

ビジネスパートナーとは、グループが取引関係を結ぶ・維持する第三者の企業または個人を指します(顧客、サプライヤー、下請け業者、コンサルタント、サービス業者、販売代理業者、仲介者、ロビイスト、合併会社、スポンサーシップ活動の受益者、買収・売却取引におけるターゲット企業および相手企業など)。Oranoと取引関係にある第三者は、特定されたリスクのレベルに応じて、誠実さの確認を目的とした特定の審査の対象となります。

グループのパートナー企業及びその責任者は、あらゆる状況において、あらゆる金額の用途(サービスの真実性、特定された受益者を含む)を証明することができなければなりません。支払者あるいは受益者の匿名性を確保することを目的とした支払い方法は一切認められません。

仲介者については、グループのコンプライアンス委員会による綿密な分析・検討が必要な場合を除き、パートナーと直接取引を行うことを原則としています。



禁止事項:

- コンプライアンス準拠の審査を行わずにパートナーと取引関係を結ぶ



推奨事項:

- グループの評価手順に基づいて第三者との取引に伴うコンプライアンスリスクを分析する
- 不明な点や質問がある場合はコンプライアンス担当者に問い合わせる

ロビー活動と政治献金

一般にロビー活動と呼ばれる、議会外の場で政治家に働きかける個人または団体による政治活動は、各国(フランスでは「サバン第2法」)および国際組織の法的枠組みにより規制されています。Oranoは、報告義務を含め、これらの規則を遵守しています。

不当な利益と引き換えに直接または間接的に政策決定に影響を及ぼすことを目的としたロビー活動は禁じられています。

政治献金については、グループのいかなる会社も、政党や公職者、あるいは公職候補者に対して資金やサービスを提供しません。但し、法律上企業献金が認められるOECD(経済協力開発機構)加盟国については、各国の現行法に準拠し、選挙活動への寄付を行うことができます。こうした寄付は、当該子会社の執行役員の書面による承認が必要であり、当該役員は、寄付を最小限にとどめるよう努めるものとします。



禁止事項:

- 公務員とかかわる場合に、グループまたはグループ会社の広報部門への報告や要請を怠ること



推奨事項:

- ロビー活動の一環としての見返り要求を一切拒否すること

メセナ活動、寄付、スポンサーシップ活動、地域連携活動

パートナーシップ戦略(メセナ活動、寄付、スポンサーシップ活動、地域連携活動)およびアクションプログラムは、グループレベルで規定されます。

こうした活動へのグループの参加は、当社の価値観に基づくものです。そして行政上や営業上の見返りが無い点が特徴です。

当グループはパートナーとして参加するのであり、プロジェクトの監督者や運営担当者としての責任は負いません。また、発案者が法的・行政的手続きをすべて完了し、必要な認可や保証をすべて取得した上で責任をもって実行するプロジェクトや活動を支援します。

企業メセナとしての支援では、国や地域の行政機関、個人への寄付、現金での支払いは許可されません。



禁止事項:

- グループのポリシーが定める重要な取り組みの範囲外で団体やイベントのスポンサーを務めること



推奨事項:

- グループのパートナーシップ関連ポリシーの一環として、第三者によるコンプライアンス遵守の調査を行ったうえで団体やイニシアチブへの支援についてコミュニケーション部門の承認を得て、Oranoと受益者との協力関係を正式に決定すること

インサイダー取引

経営陣および従業員は、職務上の守秘義務について理解し、知り得た機密情報を家族や親族、知人等に対して絶対に漏らしてはならないことを認識しています。インサイダー取引が発生する可能性についての注意を受けており、インサイダー情報の取り扱いに関するグループの現行手順を遵守する義務があります。

経営陣および部内者は、法律に準拠し、インサイダー情報の管理に関してグループが定める手続きに従わない限り、グループが発行する取引可能な有価証券、Oranoの株式またはOranoが発行する債券、子会社の上場あるいは非上場株等を、直接または間接的に取得あるいは売却しないこと、ならびに、社の統制機関に遅延なく報告するものとします。

社員は、職務上知り得たインサイダー情報を利用して、パートナー企業、サプライヤー、顧客その他グループの取引先が発行する証券を取得したり売却したりしてはなりません。



禁止事項:

- 不当な利益につながる可能性のあるインサイダー情報を開示または利用すること



推奨事項:

- 特に決算報告書の開示前を含め、機密情報についての守秘義務を厳守し、最大限の注意を払うこと

不正行為

Oranoは、あらゆる形態の不正行為の未然防止に努めます。このような行為は、当社の評判や業績に大きな影響を与える可能性があります。

不正行為とは、不当な利益を得る目的で故意に第三者を騙したり、法的義務や組織のルールを逃れたりすることです。不正行為を働く動機としては、物質的理由(横領、金銭的利益の追求など)と知的理由(認められたい、評判を保ちたいなど)があります。実際には、不正行為は作為・不作為のどちらでも成り立ちます。不正行為は内外を問わずどこからでも生じます。

グループでは、こうしたリスクに対処するために、内部統制に準拠した明確なルールと的を絞ったコミュニケーションを通じて、不正行為防止の取り組みに力を注いでいます。



禁止事項:

- 要求される証明書類や承認レベルを確認せずに支払いを行うこと
- 緊急案件に対応するために監査を怠ること



推奨事項:

- 疑わしい請求や普段とは違う申し出があった場合に受けるべきかどうかを検討すること
- 適正かどうか確信が持てない場合は相談すること

核物質の分野で世界トップレベル企業のオラノ(Orano)は、
現在および将来のエネルギーと健康の課題に対するソリューションを提案します。

専門知識と最先端技術を生かし、
オラノは、燃料サイクルの全工程で
お客様に付加価値の高い
製品とサービスを提供します。

技能、安全への揺るぎない姿勢、
革新への絶え間ない探求心を駆使し、
オラノグループの全従業員16,500名は、
今後とも、核物質の変換と制御に関する技術の開発、
気候、健康、資源効率の良い世界に
全力を注ぎます。

オラノと共に原子力エネルギーの価値を最大限に

